

社協さくら

第168号
編集・発行

ふれあいネットワーク



佐倉市社会福祉協議会

発行人 左奈田 雄一

〒285-0013

佐倉市海隣寺町87番地 社会福祉センター2F

TEL 043-484-6197 FAX 043-486-2518

URL <http://www.sakurashakyo.or.jp>

みなさまの会費が地域の福祉を支えます

東日本大震災へのご支援ありがとうございます。

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会 会長 左奈田 雄一
千葉県共同募金会佐倉市支会 支会長 塚田 雅二

大震災から1年2カ月が経とうとしています。佐倉市内においても、重傷を負った方や200件を超える全・半壊の建物被害が発生し、被災された皆様には改めてお見舞い申し上げます。大震災発生直後から佐倉市の皆様より多くの義援金のご協力をいただいております。また、災害ボランティア活動や被災地支援活動を積極的にされている方も多く、様々な形でのご支援をいただき、誠にありがとうございます。今後も引き続き、被災地への支援と地域の助け合いを深めていく活動を推進して参ります。

14地区社協の広報
高齢者福祉
施設訪問
住民福祉懇談会
いきいきサロン
14地区社協の活動費へ 300円
会費 500円
佐倉市社会福祉協議会活動へ 200円
児童福祉に
ふれあい昼食会

敬老会は市からの委託事業のため含みません

会費は地域福祉の財源です、ご協力を

地域に還元された会費300円のつかいみち

社協会員のご加入をお願いします

社会福祉協議会(社協)はみなさまが会員となって、地域の福祉を高めていく活動に参画していただくことを目的とした団体です。年々、福祉的援助を必要としている方は増加しています。その内容も多様化、複雑化しています。その要望と期待に応えるためには多くの財源が必要です。

例えば、地区社協の「ひとり暮らし高齢者の昼食会」や「いきいきサロン」の実施には、会費や共同募金の配分金が使われています。社協が推進していく、住民どうしの支え合い活動—高齢者や障がい者などで、移動が困難な方の交通手段を確保するための移動サービス事業など—にも財源の確保が必要です。

そこで、会員になっていただいたみなさまには「会費」の拠出をお願いします、会員相互の支え合いの活動に使わせていただいております。地域の方の温かい思いやりとご協力による「会費」が、各種の社会福祉事業を支えています。社協が推進する地域福祉事業にご理解をいただき、一人でも多くの方が会員にご加入くださいますようお願いいたします。

- 一般会費(年額) 500円(一〇)
(町内会・自治会等のご協力により納入していただいております)
- 賛助会費(年額) 1,000円(一〇)
- 特別会費(個人・年額) 2,000円(一〇)
- 特別会費(団体・年額) 10,000円(一〇)

会費のつかいみち

みなさまから拠出していただいた一般・賛助・個人特別会費合計2,112万円のうちの60%1,267万円が、佐倉市内の14地区社会福祉協議会(以下、地区社協という)に還元されます。各地区社協では、地区の特性に合わせた上記のような事業に使用されます。詳細につきましては、各地区社協までお問合せください。

残りの40%と団体特別会費合計946万円は、市社協の事業費や法人運営費として使わせていただいております。その内訳は、事業費として427万円(地域福祉推進事業95万円、ボランティア活動185万円、広報発行の1部に70万円、会員募集63万円、食事サービス・おもちゃ図書館などの在宅福祉事業に14万円)、法人の組織運営費として519万円(理事会・評議員会の開催、OA機器のリース・保守料、印刷費、通信費、備品費、通訳料等の事務費、損害保険料、車輜費、表彰関係費用等)です。

☆は傍聴可能な会議です。詳細については4頁をご覧ください。

29日	☆ボランティア活動助成対象選考委員会
22日	理事会
15日	☆ボランティア活動助成対象選考委員会
10日	☆第二回評議員会
6月	
31日	☆ボランティア活動助成対象選考委員会
29日	☆第一回評議員会
22日	☆第一回共同募金会
21日	☆ボランティアセンター運営委員会
5月	
22日	☆第一回共同募金会
21日	☆第一回ともに歩むふくしプランII推進委員会

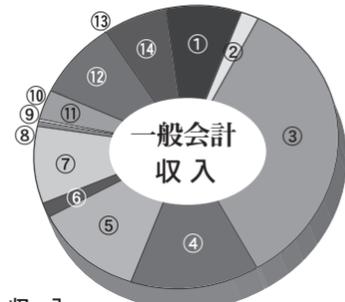
社会福祉協議会(社協)は、みなさまの会費で運営されています。

平成24年度 佐倉市社会福祉協議会事業計画・予算概要

平成24年度 予算概要

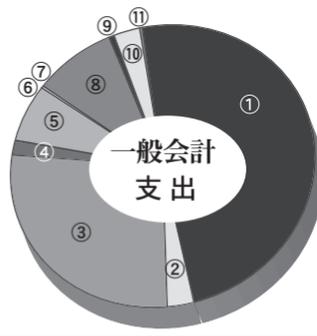
一般会計 (単位：千円)	
収入	
会費	22,810
寄附金	4,770
経常経費補助金	94,460
受託金	37,337
事業収入	32,888
貸付事業等	4,775
共同募金配分金	24,234
負担金	1,412
雑収入	100
受取利息配当金	1,294
会計単位間繰入金	9,077
経理区分間繰入金	23,318
施設整備等寄附金収入	150
積立預金取崩収入	17,761
収入合計	274,386
支出	
人件費	135,008
事務費	7,919
事業費	76,706
貸付事業等	5,000
助成金	17,288
負担金	360
会計単位間繰入金	674
経理区分間繰入金	23,318
積立預金積立金	1,452
退職共済預け金支出	7,871
予備費	500
支出合計	276,096
当期資金収支差額	-1,710
前期末支払資金残高	24,385
当期末支払資金残高	22,675

公益事業特別会計 (単位：千円)	
収入	
委託金	51,604
事業収入	5,555
負担金	55
介護保険	63,617
雑収入	1,813
会計単位間繰入金	674
収入合計	123,318
支出	
人件費	85,176
事務費	5,321
事業費	24,966
負担金	313
会計単位間繰入金	5,895
支出合計	121,671
当期資金収支差額	1,647
前期末支払資金残高	40,961
当期末支払資金残高	42,608



【事業基本方針】
 昨年発生した大震災は、私たちに多くの被害を与え、たくさんの課題を投げかける結果となりました。本会においても、災害ボランティアセンターの設置、運営、東北地方への職員被災地派遣活動など、数多くの貴重な経験をしました。今後は、それを生かした事業展開へと発展していかねければなりません。

平成24年度は、佐倉市の地域福祉計画と連動した「ともに歩むふくしプランII」に基づく活動を推進していく中で、大規模災害対応を視野に入れたボランティアセンターの機能強化、業務の合理化、財源の確保などに注力し、社会福祉協議会基盤を確固たるものにしていくことを基本方針として、次に掲げる重点実施事項を核に地域福祉の推進を図ってまいります。



【重点実施事項】

1. ボランティアセンターの機能強化
 組織改編によりボランティアセンターの機能を強化し、災害ボランティアセンター立ち上げのシミュレーションなどを行います。また、市民公益活動サポートセンターとの連携を強め、地域福祉活動に反映させていきます。

2. 第4次佐倉市地域福祉活動計画の推進

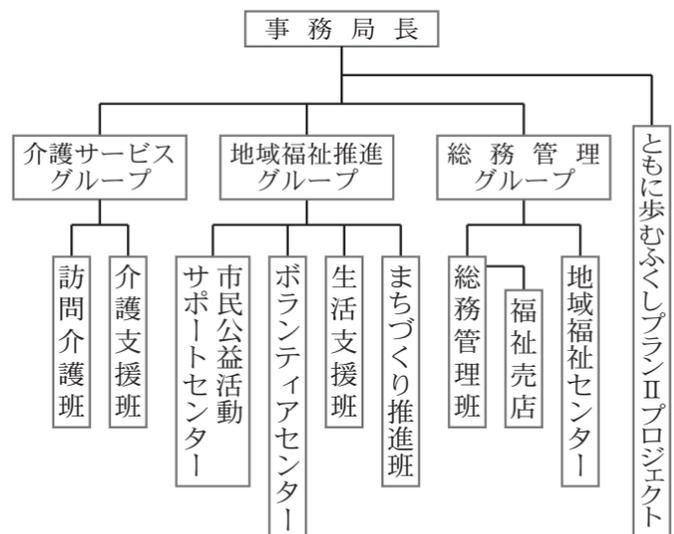
ともに歩むふくしプランII推進委員会と連携し、関係機関・団体へ働きかけを行い、計画が具体的に組み込まれるよう推進します。一方、佐倉市地域福祉推進会議による協働課題への対応、推進委員会からの提言に基づく子育て支援に関する事業の強化に取り組んでまいります。

コンパクトな体制にしました

事務局の新体制図

平成24年度は事務局体制を刷新しました。事業計画の基本方針や重点実施事項に掲げたとおり、大規模災害を想定した災害ボランティアセンター設置・運営のシミュレーションを行います。そのためにボランティアセンターの機能拡充と市民公益活動サポートセンターとの連携を強化し、同時に膨大な情報を管理する体制の構築を図ります。従来の指定管理グループの「地

平成24年度事務局組織図



退任のごあいさつ



佐倉市社会福祉協議会
 元事務局長 瀧野 博

平成24年3月22日、「佐倉市地域防災計画」に定める、大規模な地震などの災害により高齢者、障がい者等が避難する「福祉避難所」及び「緊急入所施設」として20施設が加盟する施設協議会が協定を結びました。施設が社会的使命として地域福祉の充実のため、一翼を担うことは地域の一員として住民のみならず、まともな連携、協働することにもなります。



締結書調印後の蕨市長と施設協議会のみなさん

佐倉市社会福祉協議会事務局に書記として入局してから33年4カ月。この間に福祉を取り巻く状況や佐倉市社協も大きく変わりました。当時は地域組織化活動が社協活動の基本で、ニーズ調査を行い、その解決のために地域の人たちと話し合いながら、支会（現在の地区社協）活動を行ってききました。休日、夜間を問

わず集まり、時には、アルコールが潤滑剤にもなりました。ボランティア担当として「ふれあい広場」や「高校生ワークキャンプ」で、若いボランティアを発掘育成したことが印象に残っています。私自身は地区の福祉委員やボランティアの方々に育てられたと思っています。地域の方々が主役の地域福祉の推進という舞台で、社協マンとして脇役や裏方に徹し、どれだけ佐倉市民のために仕事ができただか分かりませんが、今思えば汗顔の至りです。長い間お世話になりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。



佐倉市ボランティア連絡協議会と佐倉市障がい者団体等連絡会が主催する交流会が、3月17日に開催されました。この交流会は、地域で障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会を目指して共同で開催されているものです。

4回目になる今回は「地域で暮らすⅢくもつと理解を深めるために」をテーマに体験発表と意見交換が行われました。第1部では、

「活動状況」の発表がそれぞれありました。第2部では、5つのグループに分かれてディスカッションを行いました。そのなかで、精神障がい者は外に出ることが不安で、家のなかにいることが一番安心できるというお話がありました。

地域で暮らすということはどういうことか、どうして

障がいのある人もない人も暮らしやすい社会をめざして

統合失調症の家族から「生活の様子や困っていること」について、重症心身障がい児の家族から「生活の様子や知ってほしいこと、親同士をつながりを作る活動」について、精神障がい者支援のボランティア団体から「活動状況」の発表がそれぞれありました。第2部では、5つのグループに分かれてディスカッションを行いました。そのなかで、精神障がい者は外に出ることが不安で、家のなかにいることが一番安心できるというお話がありました。

地域で暮らすということはどういうことか、どうして



佐倉市ボランティア連絡協議会と佐倉市障がい者団体等連絡会の交流会

食事サービスアンケートを実施

共同募金配分金のひとり暮らし高齢者などの食事サービスについて

ひとり暮らし高齢者を対象とした食事サービスに取り組んでいる10団体の協力で、対象者となる高齢者の声を聞くアンケート調査を行いました。

現在の活動を振り返り、今後の食事サービスの方向性を考えることが目的です。また、共同募金の配分金を原資としているこの活動を、アンケート調査を実施することで対象者はもちろん、親族、近隣の方々にも理解していただけるような設問にしました。

安がつのるとの声が多いのも忘れてはならない結果でした。費用については、一部負担金を理解していただき声が多かったのには驚きました。アンケートは、今後の食事サービスの方向性を検討する際に大切な資料とさせていただきます。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。詳細については、一冊の集計結果アセンダーに設置しましたのでご自由にご覧ください。

今後の活動を振り返り、今後の食事サービスの方向性を考えることが目的です。また、共同募金の配分金を原資としているこの活動を、アンケート調査を実施することで対象者はもちろん、親族、近隣の方々にも理解していただけるような設問にしました。

満足しているという声が圧倒的でしたがひとり暮らしであるがゆえに体調が悪いつき、夜などに圧倒的

平成24年度ボランティア入門講座

ボランティア活動を始めたい方、始めたばかりの方、ボランティアに関心のある方を対象にした講座です。ともに語り、学ぶ場として今後の地域で活動できる糧になることを期待し、開催します。

- 第1回 7月5日(木) ボランティア活動とは?
- 第2回 7月12日(木) 地域で生きるPART1
- 第3回 7月19日(木) 地域で生きるPART2
- 第4回 7月26日(木) ボランティア活動発表

- *開講時間 13:30~15:30
- *場所 社会福祉センター地下研修室
- *申込み締切日 6月20日
- *定員40名 ※全回受講可能な方
- *費用 1,000円(資料代)
- *問合せ・申込み 佐倉市ボランティアセンター TEL(484)6198

佐倉東中みんなで貯めました

まだ肌寒い、春の恋しい3月9日に、プルタブを集めて交換した車いすが佐倉東中学校から佐倉白翠園に寄贈されました。車いすに交換するのに必要なプルタブは150万個。重さにして850万程度。小さなプルタブは大切な車いすとなる貴重な資源で、人に、地域に、環境に優しい活動です。車いす1台1台が必要とする方の暮らしを支えていくことを願い、「これからもプルタブを集める活動に誇りを持って取り組み続けていきます」



入所者と車いすを前に

被災地に行けないが、被災地に行けなくても自分ができることをしたい。そして復興への気持ち薄れていかないよう、自分なりに自分のできることを実践したい。」と語っていました。あの日本中が震撼した震災を忘れないよう、1年経った今、もう一度考えてみたいと思いま

佐倉白翠園へ車いすの贈呈



被災されたつらい体験を語る高野さん

体験発表の話に、涙をこらえるひと、こらえきれずに目をタオルで覆っている人。被災地での活動を体験された方が多い会場では、高野さんの「帰りたいけれども帰れない辛さ」に共鳴される方が多数おられました。最近就職先が決定した若い男性ボランティアは、「今は被災地に行けないが、被災地に行けなくても自分ができることをしたい。そして復興への気持ち薄れていかないよう、自分なりに自分のできることを実践したい。」と語っていました。

1年経った今、違った目線で考え行動を

災害ボランティア交流会

昨年来、佐倉市では被災地支援をする為に保険に加入された災害ボランティアがおよそ370名おられます。この方々を対象に、災害ボランティア交流会が3月11日志津コミュニティセンターで実施されました。被災地から避難し今は佐倉市民となられた高野経行さんが、「一時帰宅が許さ

られて自宅に戻った時に、テレビで流れる光景が眼前に広がっていた。また、実際に見える部分では何ともなさそうな地域も、原発によって影響を受け、自分の家に戻りたくても戻れない現状が虚しい」と、感情を抑えながら語ってくれました。



こらえきれずに目頭を覆う人も

快適・安心・安全をお届けします
イオン&旬鮮館と32の専門店
駐車料金2時間半まで無料

レイクピアウスイ
京成臼井駅前 TEL 043-461-1871
〒285-0837 佐倉市王子台1-23

新茶は 長者のサプリメント

創業明治 **小川園**
佐倉新町総本店 (城下町通り商店街)
佐倉市新町192 電話:043-484-0127

鮮やかに、笑

テオ印刷
佐倉市錦木町1137-4
☎ 043(484)0321(代)
http://www.teo.co.jp

TKC会計

五十嵐税務会計事務所
お気軽にお問合せ下さい。
所長 五十嵐 玲彦
佐倉市稲荷台1-5-6 TEL 043-463-1355
✉: lgarashikaiketo@kcnf.or.jp

す。あの震災当時とは違った目線で、自分に何ができるのか。まずは身近なところから繋がりを作り、どんな時にも手を差し伸べられ、助け合える関係を築く、初めの一步を踏み出してみよう。

福祉総合相談所

●心配ごと相談(民生・児童委員)
㊸月曜日 ㊹水曜日 ㊺金曜日
10:00~15:00

〔相談場所〕

- ㊸社会福祉センター2階
TEL(484)6199
- ㊹西部地域福祉センター2階
TEL(463)4433
- ㊺南部地域福祉センター1階
TEL(483)7211

●法律相談(弁護士)

〔相談場所・日時〕

第4月曜日 10:00~15:00
抽選で8名まで
社会福祉センター2階にて受付
(9:30に抽選します)

●介護生活相談 TEL(484)6196

●貸付相談 TEL(484)6200

●ボランティア相談
TEL(484)6198

〔相談場所・日時〕

社会福祉協議会事務局又は
ボランティアセンター
月~金曜日 8:30~17:00
※祝日は相談を行いません。

〔問合せ〕

生活支援班 TEL(484)0698

寄附者ご芳名

(平成24年2月1日~平成24年3月31日)

寄附者氏名・団体	金額(円)
全国友の会佐倉支部	10,000
普門院写経会	50,000
はらべこさくら	9,000
匿名	30,000
匿名	2,425
合計	101,425

ありがとうございました。福祉事業に活用させていただきます。

傍聴可能な委員会

- ボランティアセンター運営委員会
5月21日(月) 10:00~12:00
社会福祉センター2階 会議室
- ボランティア活動助成対象選考委員会
5月31日(木)・6月15日(金)・29日(金)
10:00~12:00
社会福祉センター2階 会議室
- ともに歩むふくしプランⅡ推進委員会
5月22日(火) 10:00~12:00
社会福祉センター地下 研修室

東日本大震災義援金募金期間を延長

3月31日⇒9月30日まで延長

義援金にご協力いただきありがとうございます。3月31日(土)までに千葉県共同募金会佐倉市支会にお寄せいただいた金額は以下のとおりです。

合計金額	17,430,081円
被災地全域	16,310,168円
千葉県内	1,086,563円
ボランティア・NPOへの支援金	33,350円

※支援金については、直接中央共同募金会へお振込みください。引き続きご協力をお願いします。領収証(税控除も含む)の発行をしておりますのでお問合せ下さい。

問合せ

佐倉市支会 TEL(484)6033

平成25年度

菊地久治勉学奨励金奨学生募集

—大学進学者対象—

ひとり親家庭で低所得世帯の意欲と能力のある学生の学費を援助。奨学金給付年数は最短終了年限までの期間で年間150万円を限度に支給します。

応募期間：平成24年6月1日(金)~6月29日(金)

募集人数：若干名

選考方法：書類選考及び面接等による

対象者：佐倉市内在住のひとり親家庭で日本の高等学校に在籍し、日本の4年制大学・短期大学への進学を目指している満20歳未満の方。

その他、奨学生対象となるにはいくつかの条件・制限がございますので、お問い合わせください。問合せ・申込み

佐倉市社会福祉協議会

まちづくり推進班 TEL(484)6033

移動サービス後援会員募集

佐倉市社会福祉協議会では、ひとりで公共交通機関の利用が困難な方の外出支援を会員制サービスとして住民相互で支えあい展開しております。事業運営を財政面から支える《後援会員》を募集しています。

年会費：1口 1,000円

市民の皆様や企業様にご賛同いただき、会員として事業を応援していただきたくお願いいたします。

問合せ・申込み

移動サービス事業

TEL(484)4319

訪問介護員募集

佐倉市内に居住する方で、高齢者・障がい者福祉に熱意と関心をお持ちの介護福祉士、又は訪問介護員1・2級研修を修了した方の募集を致します。詳細につきましては、左記までお問合せください。

総務管理班
TEL(484)6200
FAX(486)2518

平成23年度共同募金運動感謝状贈呈者

千葉県共同募金会佐倉市支会より感謝状が贈られました。(順不同・敬称略)

佐倉市支会会長感謝状

- ・梶 勝博
- ・豊田 一
- ・追川医院
- ・成尾医院
- ・ケイ・プラン株式会社

※3年間の累計で個人3万円、法人等団体10万円以上10年以上継続しての協力者・団体

西志津芸能祭

西志津芸能連盟主催の芸能祭が開催されます。皆様のおいでをお待ちしています。

日時 平成24年5月27日(日)
正午から午後3時30分
場所 西志津ふれあいセンター2階
西志津ふれあいセンター1階
西志津地区社協
問合せ TEL(460)1782

新広報委員選任

平成23年度の終わりと共に広報委員の任期満了に伴い、ボランティア・地区社協・施設等から推薦をいただき、新たな広報委員が決定致しました。「社協さくら」を現在まで支え、長期に亘って、編集に携わっていただいた川合忠雄さん、高梨直子さん、飯塚久実子さん、斉藤秀樹さんに心より感謝申し上げます。本当に長い間...お疲れ様でした。

委員長 黒川 隆生 (西志津地区社協)

副委員長 長谷久美子 (ボランティア)

委員 多々良信治(新任) (千代田地区社協)

委員 橋口 純子(新任) (生活クラブ風の村 さくら)

委員 山岸 洋子(新任) (佐倉城の辺地区社協)

善意銀行預託・払出し

自24・2・1
至24・3・31
敬称略

使い捨てバッグ、車いす用レインコート、室内用呼び出し器、車いす用簡易スロープ2枚、肌着多数 他

【物品払出し】

紙おむつ17件、尿取りパット12件、杖3件、ポータブルトイレ2件、毛布・敷毛布2件、靴下・下着2件、防水シート2件、石油ファンヒーター1件、掃除機1件 他

サポセンが2期目に

佐倉市社会福祉協議会が平成24年度からの5年間、引き続き「佐倉市市民公益活動サポートセンター」の指定管理者になりました。2期目もどうぞよろしく願いいたします。

訂正とお詫び

社協さくら第167号、2頁目の平成23年度法人・会員名簿欄に(株)三谷屋綿店様が重複し、佐倉商工会議所様が記載漏れとなっておりましたこと、お詫びして訂正申し上げます。

「社協さくら」をより多くの方に親しまれ、情報を提供できる、住民参加型の紙面づくりを目指します。で今後ともよろしく願いします。